

福岡県立大学大学院 看護学研究科

看護学専攻 修士課程



公立大学法人 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395
TEL 0947-42-2118 FAX 0947-42-6171



福岡県立大学 大学院 看護学研究科

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/>

ACCESS

- JR**
 - 博多方面から
博多駅→田川伊田駅(約1時間20分)徒歩約15分
 - 小倉方面から
小倉駅→田川伊田駅(約1時間)徒歩約15分
- 平成筑豊
鉄道**
 - 行橋方面から
行橋駅→田川伊田駅(約50分)徒歩約15分
 - 直方方面から
直方駅→下伊田駅(約30分)徒歩約10分
- 西鉄
バス**
 - 福岡(天神)方面から
西鉄天神高速バスターミナル→
福岡県立大学(約1時間25分/構内乗入れ)
学生向け福岡都市圏+筑豊地区バス乗り放題定期券
「筑豊エコルカード」(1ヶ月17,300円)が使えます。
- 車**
 - 福岡市方面から
国道201号(八木山バイパス経由)下伊田交差点で右折
 - 北九州方面から
九州自動車道の八幡ICから本学まで約20分
九州自動車道の小倉南ICから本学まで約30分
 - 大分方面から
東九州自動車道の行橋ICから本学まで約25分



GRADUATE SCHOOL OF NURSING 2021
FUKUOKA PREFECTURAL UNIVERSITY

看護学研究科は、
看護学部と福祉系の人間社会学部が
併設されている点を最大限活かし、
地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する
中核的な担い手である高度専門職業人としての
看護職者や研究者・教育者を養成することを旨とし、
設置されました。

本研究科が求める人

- 1 看護学の基礎的知識を有している人
- 2 専門分野の基礎的知識を有している人
- 3 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
- 4 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
- 5 研究計画もしくは志願理由について論理的に他者に伝えることができる人
- 6 専門分野に関心と問題意識をもっている人
- 7 専門性をより高め保健医療福祉社会に貢献したいという意思を有している人
- 8 看護実践に必要なコミュニケーションスキルを有している人

学長メッセージ



大学院における学びは、既存の理論知や他者の経験知との照らし合わせや自身の内省を通じた未知の課題発見およびその解決を目指して、専門職業人として培った価値観や経験知を再考し、その再検証によって、新たな知を創造することにあります。本学大学院看護学研究科においては、少子高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築とそれに対応した技術革新が求められる現在、その変革を担う、第一線の研究者、高度専門職業人の育成を目指しています。

当看護学研究科には、研究コース、専門看護師コース、助産実践形成コースの3コースがあります。仕事を続けながら修学する環境を整備していますので、それぞれのコースにおいて、実践の中で抱いた問題意識を学修に反映させ、修得したことを実践に反映させるという有機的な課題連携学習を深めていきます。在学中は言うまでもなく、入学に際しての支援から修了後のリカレント研修まで支援体制が充実しています。また、授業においては、国内の著名な講師陣も加わり、わが国の保健医療福祉界の専門的な知識を教授しますので、現代社会の諸課題に対応できるよう実践科学、研究について学修できます。今後の我が国の看護科学を担えるよう、価値ある研究を行ってみたいと思います。

人々の健康と自己実現に寄与すべくより専門性を高めたいと願っている、探究心とチャレンジ精神にあふれた人、是非当看護学研究科の門戸を叩いてください。福岡県立大学大学院看護学研究科の教員は、全力で皆さん方の夢の実現を応援します。

理事長・学長 柴田 洋三郎
Yosaburo Shibata

看護学研究科長メッセージ



21世紀の保健医療福祉社会においては、諸問題が複雑に絡まりあって存在しています。本研究科では、研究者や上級実践看護職者を目指す学生のみさんの学生生活や将来の進路を踏まえた丁寧な指導を行っています。本学教員に加え高度な専門的知識や実践能力を有し各地で活躍されている専門家の先生方が、それぞれの問題により適切な対応ができるような高度な知識と卓越した実践能力を備えた実践家と共に教育を行っています。修了生への卒後教育を含め、保健医療福祉社会に貢献する人材となるような教育に取り組んでいます。社会人が学びやすい長期履修制度や夜間・土日開講、博多サテライト教室での授業といった学修環境を整えて、皆様をお待ちしています。

看護学部 学部長/大学院 看護学研究科長 江上 千代美 教授
Chiyomi Egami

看護学研究科

教育目的

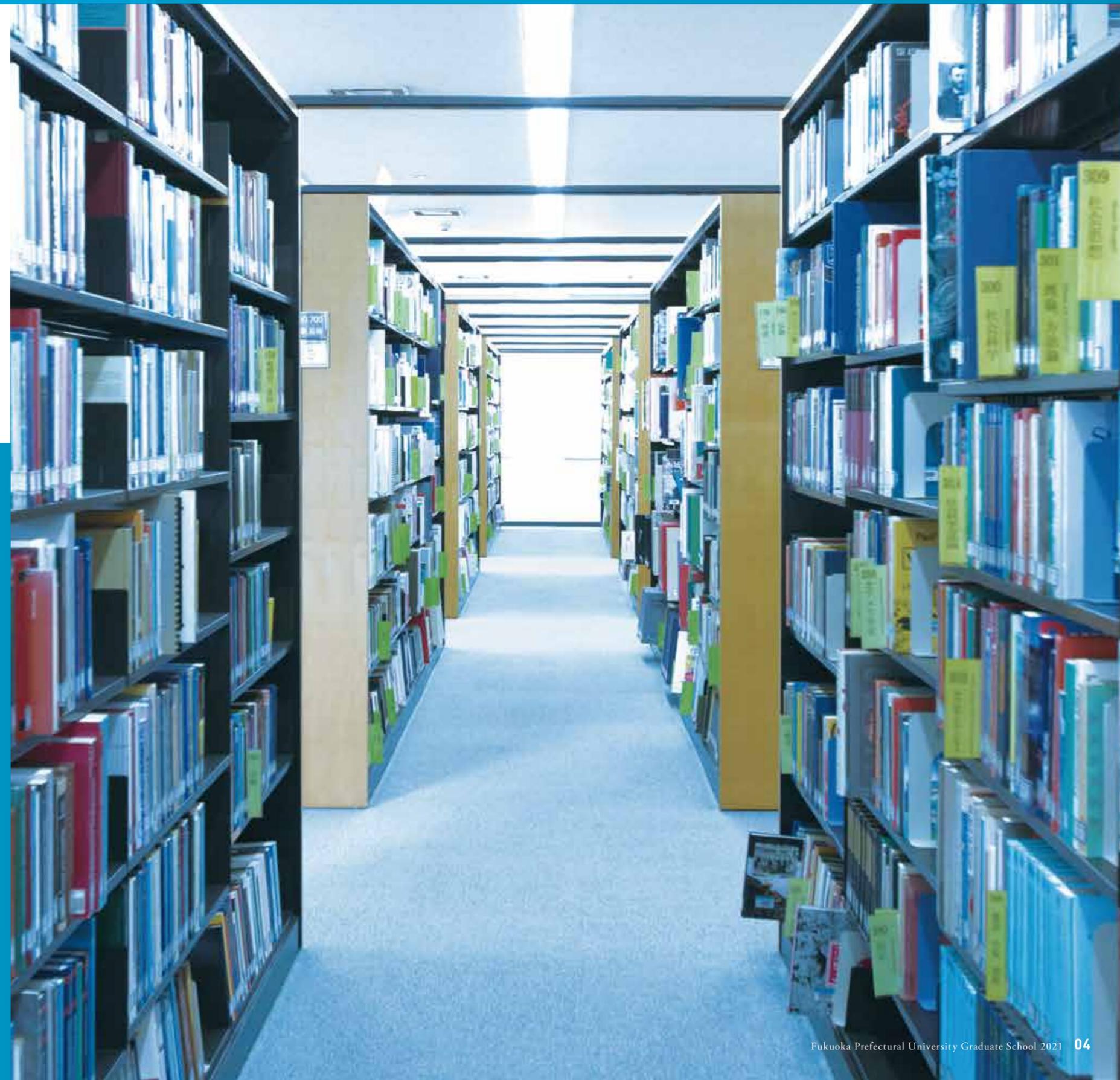
地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成する

看護学研究科の特徴

人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる高度看護専門職者を育成します。

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的な担い手である高度専門職業人としての看護職者や、研究者・教育者を養成し、社会で活躍するリーダーの育成を目指しています。そのため、現職の課題を本研究科において、教授陣と共に検討し、課題解決のための方策を導き出すための支援を行います。

- 1 | 看護学研究科は、研究者養成と実践者養成からなります。
- 2 | 実践者養成では、老年看護と精神看護の2つの専門看護師コース(現在募集停止中)、助産実践形成コースがあります。大学院教育により、保健・医療・福祉社会での役割を担うことができる実践能力をもった人材の育成を目指します。
- 3 | 学士の学位は有していないが、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた人は受験資格があります。
- 4 | 2年間の修士課程の授業料で3年間在学して単位が取得できる制度として、看護職等医療職の方が在職したままキャリアアップできるように、長期履修制度を設けています。また、夜間・土日開講、博多サテライト教室での授業といった学習環境を整えています。
- 5 | 研究科の全入学者のうち、3名以内に対して2年次1年間の授業料を免除する、特待生授業料免除制度があります。
- 6 | 雇用保険の一般被保険者等が入学した場合、入学料及び初年度授業料(必須の教材費等を含む)の一部を、修了時に給付金(最高10万円)として受け取ることができる制度(教育訓練給付金制度)があります。
- 7 | 研究コースにおいては、特に優れた業績をあげた者については1年以上在学すれば修了が認められる場合があります。



研究コース

研究コースでは臨床看護や看護教育を、根拠をもって行うことにつながる基礎的な研究や、看護学や看護教育学の発展につながる研究を行う能力を培い、医療機関や教育機関あるいは行政機関で、組織の管理者や教育者として看護の質の向上や看護教育の質の向上に寄与しうる人材の育成を目指しています。



教員からのMessage



基盤看護学領域 看護教育学 教授
石田 智恵美先生

疑問？を改善！につなげよう

臨床の看護実践の中で、看護師教育・患者教育・学生の教育を行うときに、また、教育現場で教育実践を行っている中で、疑問に思ったこと、改善したいと思ったこと、学びたいと思ったことはありませんか？

研究コースでは、このような課題の解決を研究的に取り組むことを通して、主体的に看護の質向上のための実践や教育実践ができる人材の育成を目指しています。貴方の持っている力を、本学の大学院で是非開花させてください。教育者の関わりは学習者の学びに影響を与えます。教育者自身が学ぶことが、学習者の学びを広げ、深めることに繋がるのです。

【研究コース】修士論文テーマ一覧

修了年度	著者	論文名	領域	専門
2017	安藤愛	看護系大学生が就職先を精神科に決定するプロセス —教育的な視点からの考察—	臨床看護学	精神看護
	淵上結香理	授乳期の女性に対するハンドマッサージの生理的・心理的効果	臨床看護学	助産学
2018	井上真実	看護師を対象とした研修プログラムの開発に関する研究：慢性呼吸器疾患患者に対するセルフマネジメント教育の向上を目指して	基盤看護学	看護教育学
	宮崎千尋	看護職を目指す学生の主体的学習活動に関する内的要因の検討：学習意欲と自己効力感に焦点をあてて	基盤看護学	看護教育学
	杉本由利子	保健師の発達障害児に対する連携技術の構造化	ヘルスプロモーション看護学	地域看護学
2019	関段奈月	看護学生の高齢者の理解を深める授業研究	基盤看護学	看護教育学
	恵良友彦	リモネンを使用したアロマセラピーによるセルフケアの抗うつ効果 —シングルケースデザインを用いて—	臨床看護学	精神看護学
	井上ちはる	わが国の助産実践における“寄り添う”の概念構造	助産学	助産学

在学生からのMessage



実践に活かせる教育を目指して

佐多 愛子さん

福岡県立大学看護実践教育センター専任教員 M2(看護教育学 長期履修生)

私は、患者さんが自らの意思で病気と折り合いをつけて生活を営むことを支援したいと考え、糖尿病看護認定看護師の資格を取得し実践経験を積みました。その後、糖尿病看護認定看護師教育に携わる中で、教育における課題を感じ進学を決意しました。進学により、仲間が増えたことや、知見が広がり患者支援の可能性が高まっていることを実感しています。また、働きながらの履修ですが先生方の協力もあり、学びやすい環境に感謝しています。



新たな看護の視点を深めることができます

中村 美穂子さん

福岡県立大学看護学部助手 M3(地域看護学 長期履修生)

私は看護師としての臨床経験を経て教員になりました。教育の現場では自分が臨床で感じていた疑問や課題にはどのような意味があったのだろうかと考えようになり、大学院への進学を決めました。講義の中での同級生とのディスカッションを通し、刺激を受け、これまでの看護や対象の捉え方に新たな視点を深めることができます。仕事と育児をしながらの学びの過程は想像していた以上に大変ですが、先生方や同級生に支えられながら、充実した毎日を過ごしています。



毎日、新たな学びを得ています

笹山 万紗代さん

福岡県立大学看護学部助手 M2(看護教育学 長期履修生)

私は看護学生と関わる中で、自分自身も「看護」「教育」「研究」について改めて学びたいと思い大学院への進学を決めました。大学院の講義は難しくもありますが、受講のたびに新たな学びを得ています。また、同級生とのディスカッションは新たな視点や考え方を知るとともに楽しくもあります。仕事、育児と学業の両立は想像以上に大変ですが、職場や家族のサポートもあり、充実した毎日を過ごしています。



仕事と学業を両立しながら、充実した日々を送っています

金崎 美穂さん

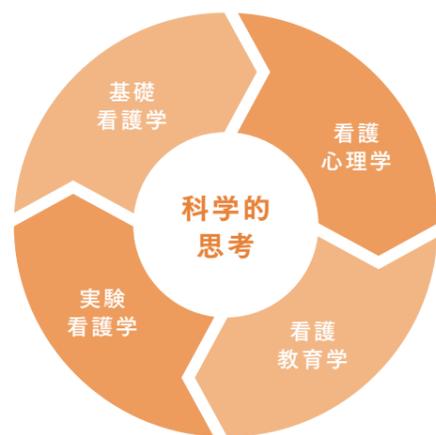
福岡女学院看護大学基礎看護学領域助手 M2(地域看護学 長期履修生)

私は、15年の臨床経験の中で、多くの看護実践を学びました。今後の生き方を見据えた時、研究や教育についてさらに学びを深めたいと思い、大学院への進学を決めました。講義やディスカッションでは、新たな捉え方や視点を学べ、視野の広がりを感じることができています。難しく辛い経験もしますが、新たな知見を得、理解できた時の充実感は何にも代えられません。仕事との両立は、想像以上に大変なこともありますが、同級生や先生方のサポートにより充実した日々を過ごしています。

基盤看護学領域

教授 永嶋 由理子(看護心理学) 教授 石田 智恵美(看護教育学)
教授 江上 千代美(実験看護学)

基礎看護学、看護心理学、看護教育学、実験看護学の4つの専門の科目群から構成されています。基盤看護学領域では、高度福祉社会において人々の多様な要望を捉え、適切な看護を提供するための理論的根拠を深めると共に、根拠のある看護実践(EBN: Evidence-based Nursing)を確立していくための科学的思考能力を養います。



▶基礎看護学

基礎看護学分野では、看護技術の構造について学ぶとともに、理論に基づく効果的な看護技術教育方法について検討し、看護技術の教育実践を分析する方法と学生の力を引き出し高める教育方法を探究します。さらに、従来用いられている看護技術の根拠について、実験看護学との連携により、実験的手法を用いて検証する方法や、効果的な看護技術の開発を推進する能力を修得します。

▶看護心理学

看護心理学では、認知心理学を基軸として看護学を論理的・科学的に探求していく理論と方法を学びます。特に、看護技術の熟達化について、熟達化のプロセスを行動と認知(技術の獲得過程で生じる行動及び思考の変化)の側面から科学的に検証を行っています。また、看護技術の熟達化を促進させるための効果的な教育法についても、看護学と教育心理学や学習心理学の統合をはかりながら研究的視点から探求していきます。

▶看護教育学

患者教育・看護師教育・学生教育・自己教育など、看護に関わる教授=学習過程に共通する教育理論や方法論について修得し、その根底にある教育哲学について学びます。看護教育を実践・研究することのできる人材を育成することを目的としています。修了生は、各大学の教員として臨床の教育者として活躍しています。

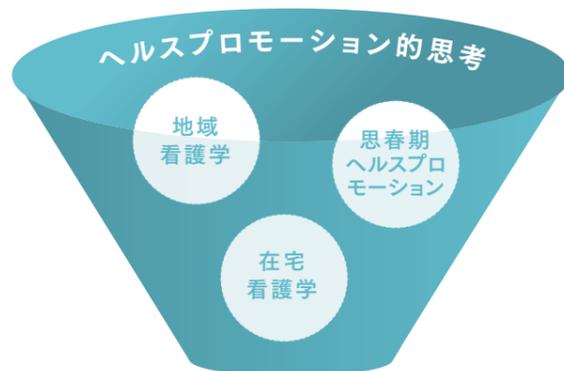
▶実験看護学

実験看護学では、形態機能学と生理学に基づいた根拠あるケアを論理的・科学的に探究する理論と方法を学びます。さらに現在健康課題や社会問題となっている看護を取り巻く事象について取り組まれている看護実践の有用性について、実験手法を用いて検証を行います。

ヘルスプロモーション看護学領域

教授 尾形 由起子(地域看護学)
教授 松浦 賢長(思春期ヘルスプロモーション)

地域看護学、思春期ヘルスプロモーション、在宅看護学の3つの専門の科目群で構成されています。ヘルスプロモーション看護学領域では、わが国従来の健康課題のみならず、進行する少子高齢社会で新たに顕在化している健康課題への専門的介入を、ヘルスプロモーションの理念を基に学術的に探究し、看護実践活動に応用する基盤能力を育成します。研究の展開に際しては、本学附属研究所ヘルスプロモーション実践研究センターと連携し、地域における実践の場で、諸課題について議論しています。



▶地域看護学

わが国の喫緊の課題である在宅医療や在宅療養の支援と支援システムを研究課題とする研究を進めています。これまで、子育ての社会化(ソーシャル・キャピタルの視点)、地域に住む中年期男性統合失調症患者と老親の支援、在宅で療養する神経難病患者的支援ネットワーク形成に係る保健師の調整技術、末期がん患者の在宅ケアシステム構築に係る連携、2型糖尿病患者の看護等について保健師の視点で研究を行っています。

▶思春期ヘルスプロモーション

思春期の母子保健、学校保健、思春期保健を対象とする中、特に性的問題や精神疾患・発達障害等の研究に力を入れています。課題背景となる家族問題や虐待、不登校・ひきこもりについては実践に即した社会的な支援の仕組みのあり方を探索します。妊娠期から乳幼児期・児童期・思春期に至る過程の課題、すなわち母子保健と学校保健については政策・施策を踏まえた研究課題を設定していきます。

▶在宅看護学

高齢者や障がい児・者が在宅での生活と療養を継続できるヘルスプロモーションと人生の場の在り方を対象者とともに構築する姿勢や医療と看護と介護を包括する視点を学びます。

臨床看護学領域

教授 福田 和美(成人看護学)

小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学の4つの専門の科目群から構成されています。様々な健康課題を持つ個人や家族がより健康的で高いQOL(Quality of life)を実現することにつながる実践研究・教育を行う人材の育成を目指しています。



▶小児看護学

子どもの最善の利益を守ることを基本理念に、出生後(時に胎児期)から思春期にいたる年齢層の子どもが、健康時・急性・慢性・ターミナル期・障がい、在宅など、あらゆる健康段階や状況における成長発達や生活環境を理解し、その子らしく家族とともに生活できるよう、生活の質向上や健康増進のための実践と研究方法を探索します。諸問題の背景を広い視野から理解するために意見交換をしながらその課題を探索していきます。

▶成人看護学

成人期にある患者(家族)を生活者の視点、ライフサイクルの視点、健康レベルの視点でとらえ、患者の生命及び患者(家族)のQOLの向上に寄与する実践、研究を追求します。地域包括ケアに対応できる看護職者が求められている現在、臨床での看護を基礎とし、成人期にある患者(家族)の身体・心理・社会的側面に関わる諸課題を探究する能力、理論・看護の概念モデルを用いた看護を実践する能力を備えた人材の育成を目指します。

▶老年看護学

在宅・施設および医療機関というあらゆる場における様々な健康課題を持つ高齢者とその家族に対する教育や援助のためのアセスメントツール、倫理的課題解決の方法、対象者をとりまくケアシステム構築のプロセスやチームアプローチの方法、専門的看護の方法を経験や事例をもとに検討できる能力を修得します。

▶精神看護学

精神看護学では、精神に障害を持つ人やその家族が安心して地域で生活できるようになるための看護、衝動性が高い等ケア困難な患者への看護を探索するために必要な理論と技法、実践能力、研究能力の育成を目指します。精神看護や精神看護学の教育が好きで、様々な看護現象について研究を通して明らかにしたいという意欲と探究心のある方のご入学を歓迎します。

助産学領域

教授 鳥越 郁代(助産学)

助産学領域は、ホリスティックな人間理解を基盤に、助産実践能力の強化を図るとともに研究能力を合わせ持つ人材を育成します。助産学における研究や教育に必要な能力を修得します。



▶助産学

助産学研究コースは、助産に関連する課題を主体的に探究する能力を持ち、助産学領域における新たな知見を見出すことのできる研究能力の習得を目指します。将来は、その研究能力を臨床や教育分野で発揮し、さらに活動領域を広げていくことができます。

助産実践形成コース

助産実践形成コースは、周産期の様々な課題に対応するため高度で自律した助産実践能力を身につけた助産師の育成を目指すコースであり、助産師国家試験受験資格を取得することができます。また規定の科目を習得することで、受胎調節地指導員申請資格・新生児蘇生法「専門」コース認定申請資格も取得することができます。



学内でのNCP(新生児蘇生法)演習風景



ホリスティック助産学演習風景(鍼灸師・助産師による講義)



学内でのハイリスク新生児ケアの演習風景



学内での産科超音波検査演習風景



学生によるプレゼンテーション(助産実践学)風景

教員からのMessage



助産学領域 教授

鳥越 郁代先生

助産学を探究する面白さを体感してほしい

助産学領域には、助産実践形成コース、助産学研究コース(研究コース記載)の2つのコースがあります。自分の目的に沿ったコースを選択し、助産学を探究してみませんか。それは時には、ハードな経験となるかもしれませんが、自分の目標を達成した時は、言葉にならない感動と喜びをもたらしてくれると思います。本研究科では、妊産婦に向けたマザークラスや女性のための健康教育など様々な企画・運営も行ってあります。また海外の助産師や大学の教員・学生を招き国際交流も積極的に実施しています。

パワー溢れる助産学領域の教員一同、皆様が、本研究科で助産学を学び、自分の夢の実現に向けて邁進して下さることを願っています。

助産学領域の履修モデル
(助産実践形成コース)

専門必修科目:6単位 共通選択科目:8単位以上

助産学専門科目:44単位

- 基礎助産学特論・演習
- 助産学特論・演習
- ホリスティック助産学特論・演習
- 助産実践学I~IV【妊娠期・分娩期・産褥・新生児期・ハイリスクケア】
- マネジメント助産学特論
- コミュニティ助産学特論・演習
- 助産学実習I~V

※修了には58単位以上が必要です

修了生からのMessage

社会保険田川病院
助産師

山村 恭葉さん

助産実践形成コース 2020年3月修了

助産哲学に基づくケアを
学ぶことができました

私は、女性に寄り添ったケアのできる助産師になりたいと思い、大学院に進学しました。在学中の2年間で、助産哲学に基づくケアについて学び、身に付けることができました。今年度、助産師として就職しました。母子だけでなく、たくさんの方と関わらせていただく中で、在学中に培ってきた知識や技術が、臨床現場の実践ケアに繋がっていると実感しています。この大学院で学んだことを、大切にしながら今後助産師として成長できるよう日々精進したいです。

在学生からのMessage

女性とその家族を支えることができる助産師を目指して



梨羽 千聖さん

M1(助産実践形成コース)

助産師は、様々な視点から女性とその家族を支えることができる職業であると思います。そのために求められる専門的な知識や技術を、学生が主体となって学ぶことができる環境が整っていることが大学院の魅力であると感じています。講義を受けるだけではなく、仲間と意見を交換しながら助産学を学ぶことは刺激的で面白いです。同じ目標に向かって励む仲間は、自分では気づかなかったことを気づかせてくれる大切な存在です。今後も先生方と仲間の心強いサポートのもと、自身が理想とする助産師を目指して努力していきます。

女性と家族の思いを大切にできる助産師を目指して



大田 梨愛さん

M2(助産実践形成コース)

大学院で学んできた知識と技術、助産師さんの思い、妊産婦さん達との出会いが、私の助産師像を変え、夢をより大きく膨らませてくれました。「女性に寄り添う」とはどういうことかを真剣に考えるようになり、今では、妊娠期から育児期を通して女性一人ひとりが自分らしく過ごせることが最も重要だと思っています。私達自身が主体となって講義や研究を進めることで、知識の習得に加えて協調性や探求心など助産師に必要な人間性も養われていると感じます。これからは努力し、将来は、女性とその家族の思いを大切にできる助産師になります。

学生支援体制

受験を希望する学生に対して、入学前に研究計画書の書き方等の個別指導を行っています。また入学後は、学務部に学生支援担当教員を配置し、大学院生の相談等に対応できる体制を整えています。個別対応はもちろん、各学年から選出された代表学生を通じて、学年全体への対応も行えるようにしています。さらに、看護学研究科専用の院生室も整備しています。院生室には各院生専用の机とロッカーがあり、無線LANによるネットワーク環境も整えています。このような体制のもと、院生は安心して学習に取り組むことができ、充実した院生生活を送っています。さらに修了後にも、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指したネットワークづくりを行っています。

1 入学前の支援

- 出願資格の相談、受験に際した学習について、申請書類の記述について等、志願者の立場になって丁寧に支援しています。

2 入学後の支援

- 院生室に、各院生専用の机、ロッカー、無線LANによるネットワーク環境を整備しています。
- 学生相談窓口として、各学年の代表学生1名が担当しています。また、大学院担当(学務部会)の教員の中から3名が学生支援担当者として学生に関わっています。
- 国内学会参加費補助制度があります。

3 修了後の支援

- FPUMN² (福岡県立大学大学院看護学研究科ネットワーク)
代表: 臨床機能看護学 講師 増満誠 (精神看護学 2010年修了)
当研究科の在学生・修了生による知的・実践的なネットワークで、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指します。また、専門看護師の資格取得支援、継続的実践能力の支援、修士論文の学会発表・投稿等の支援も行っています。

4 学費等

入学料	520,000円 (但し県内の者は282,000円)
授業料	535,800円 (前期、後期で分納)
授業料の減免	経済的理由等により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀と認められる場合に授業料の全額(または半額)を免除する制度があります。

詳細は、掲示コーナーでお知らせします。

5 奨学金

日本学生支援機構、本学及びその他(地方公共団体・民間団体・病院等)の奨学金があります。

実施主体	内容	備考
日本学生支援機構	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第一種(無利子貸与) 月額5万円、8万8千円から選択 ■ 第二種(有利子貸与) 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択 	4月上旬に説明会を開催しますので、希望者は必ず出席してください。
福岡県立大学	学費負担者の被災や病気等により修学を継続することが困難な学生に対し、在学期間を通じ最大で30万円を無利子で貸与します。	毎年度1回申請することができ、予算の範囲内で人数を決定します。

その他の奨学金については、掲示コーナーでお知らせします。

その他(学位取得者、入試日程、学年暦、実習施設の情報)

1 学生情報

- 学位取得者 修士(看護学) 計90名
- 在学生 計25名

2 募集人員及び入試日程

募集人員	事前協議締切日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続き期間
3コース計12人 [うち、助産実践形成コースの定員5人 専門看護師コースは、現在募集停止中です。]	2020年 8月31日(月)	2020年 9月28日(月)から 2020年 10月5日(月)まで	2020年 10月17日(土)	2020年 10月23日(金)	2020年 10月24日(土)から 2020年 11月4日(水)まで

3 学年暦(例)

2020(令和2)年度 [1年次]

前 期		後 期	
入学式・オリエンテーション	4月 2日(木)	研究計画書審査申請書提出期限	10月15日(木)
「研究指導教員届」提出期限	4月20日(月)	【秋季入学試験】	10月17日(土)
「修士論文題目届」提出期限	5月22日(金)	【春季入学試験】	2月 6日(土)
前期成績表交付	9月10日(木)	【修士学位記授与式】	3月17日(水)
研究計画発表会	9月16日(水)	後期成績表交付	3月19日(金)

4 実習施設

助産実践形成コース	精神看護専門看護師コース	老年看護専門看護師コース
田川市立病院 一般社団法人社会保険医療協会 社会保険田川病院 医療法人愛成会 東野産婦人科医院 飯塚病院 医療法人社団蘇会 エンゼル病院 独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院 産業医科大学病院 助産院 町のさんばさん 助産院 笑望 一般財団法人北九州助産センター お産の家 よつ葉	医療法人社団碧水会 長谷川病院 福岡県立精神医療センター 太宰府病院 医療法人和光会 一本松すずかけ病院 医療法人昌和会 見立病院 公益財団法人慈圭会 慈圭病院 みろく福祉サービス株式会社 一般社団法人Q-ACT福岡 一般社団法人Q-ACT北九州 (株)福岡プライマリケア 訪問看護ステーション 国立大学法人滋賀医科大学 医学部附属病院	小倉記念病院 九州労災病院 医療法人昌和会 見立病院 医療法人博愛会 顕田病院 独立行政法人国立病院機構 菊池病院 社団医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 市立池田病院 医療法人HSR名嘉村クリニック

本研究科の詳細は ホームページ <http://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/> をご覧ください。

お問い合わせは 福岡県立大学アドミッション・オフィス
TEL 0947-42-2118 〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395